

# 老朽住宅撤去に予算措置を

## 来年度も5百万円予算要求



あさの 浅野 議員

い、老朽住宅の所有者には、周囲の生活環境の保全を図るよう助言を行い、対策を図っていく。来年度も500万円の予算要求を基本としている。

**問** 各地区において、老朽化住宅の撤去等が喫緊の課題となっている。予算措置を含めた考えと、今後の対策を問う。

**答** 金子 まちづくり課長

老朽住宅除去事業は、平成24年から平成28年度までに合計30件を除去。本年度は17件の申し込みがあった。

今後の対策としては、平成26年11月に、空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、当町においても平成28年度に空き家実態調査を行

### 防災・減災

#### 避難場所に

#### 居住スペースを

#### 総合的な 検討が必要

**問** 被災時の避難場所に、簡易な一時居住スペースが必要だ。町の考えと対応を問う。

**答** 徳廣 情報防災課長

避難場所については、まだ整備中の状況だが、整備数は160カ所を超えている。各避難場所の状況は、どこもほぼ同じ環境であり、すべてに居住スペースとなると事業費も相当なものとなる。現段階

では整備計画はない。今後は、他の防災対策事業を含め、優先度、緊急度を勘案し、総合的な検討が必要と考える。

**問** 町内の3衛生業者は、県と災害時を想定した協定を結んでいるが、衛生車輛を浸水想定地域内に駐車、保管している。災害時対策に、高台にある町有地等を駐車場として提供できないか。

**答** 藤本 住民課長

南海トラフ地震や風水害等大規模な災害時における、各避難所等でのトイレの問題は切実だ。県では、県内54の業者でつくる連合会と、平成27年度に協定を締結し、一週間を目途に無償で、し尿の収集や運搬に当たっていた。町内3業者は南海トラフ地震における津波浸水想定区域内に事務所などがあるので、今後、高台へ駐車を希望される業者と協議を行いながら、検討を進めていきたい。

### スポーツ観光

#### 宿泊施設建設

#### 計画はないか

#### 町内民間宿泊

#### 施設の充実を

**答** 門田 産業推進室長

スポーツツーリズムが順調に宿泊客を伸ばしているとはいえ、それは長期の休みを中心とした限られた期間だ。当面の課題は、閑散期の宿泊客をいかに伸ばしていくかで、町としては、町内民間宿泊施設の年間通じた安定経営と、施設整備の充実を図る施策が町の産業振興と考える。

**問** スポーツツーリズムを、ズンと押し上げるような対応、対策が必要と思う。人工芝グラウンドの完成に伴う宿泊施設建設の考えや計画はないか。



土佐西南大規模公園に人工芝が完成し、落成式でのテープカット。この人工芝グラウンドには、スポーツツーリズムへの大きな期待が